

整理番号 2022M-106
補助事業名 2022年度 水資源の有効活用のための研究開発等補助事業
補助事業者名 一般財団法人造水促進センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

水資源の有効利用により環境負荷の軽減と循環型経済社会の促進を図るため、水質汚濁防止や海水の淡水化等造水・排水処理技術に関する先端技術の開発及び実用化事業を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容 (http://www.wrpc.jp/?page_id=161)

①「低炭素型水処理技術」の普及促進セミナー

(<http://www.wrpc.jp/center/img/jitennsha2022.pdf>)

本シンポジウムは、現在注目を集めているCO₂削減を目指す社会のニーズの一環に応じて、下排水の水処理技術もより進んだ省エネルギー型が求められている。これらの社会的ニーズに対応するために、従来の水処理技術より、さらに進んだ炭素削減を有する省エネ型水処理技術に焦点を合わせ、炭素発生量より少ない「低炭素型・水処理技術」に関するセミナーを開催した。

2 予想される事業実施効果

下排水における「低炭素型水処理技術」に関して、再生水を利用する立場の観点から、これらの技術を得ることは、再生水のみならず、省エネ型より進歩して、低炭素型水処理技術としてより発展していくことは社会のニーズに対して幅広く的確に貢献していくことが期待される。

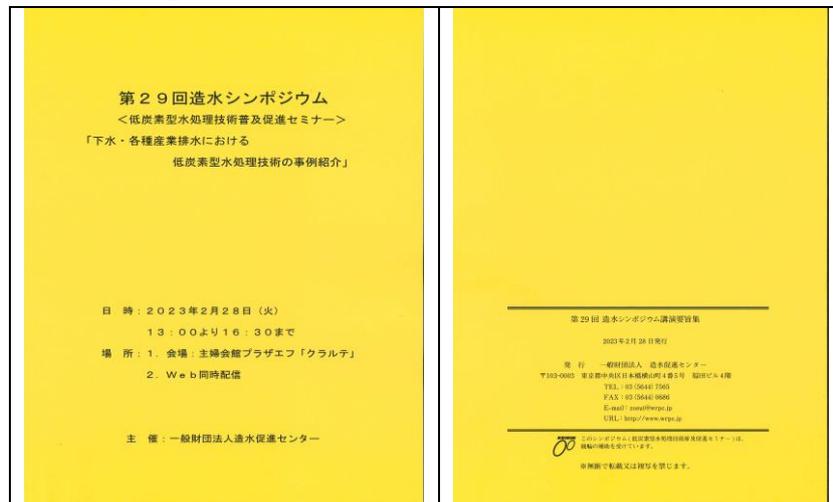
3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

2022年度「低炭素型水処理技術」の普及促進に関するセミナー報告書

	<p>「低炭素型水処理技術」普及促進セミナー —下水・各種産業排水における低炭素型水処理技術の各種事例の紹介— 報告書</p>																																									
	<p>目次</p> <table border="1"><tr><td>1. 事業目的</td><td>3</td></tr><tr><td>2. 事業内容</td><td>3</td></tr><tr><td>3. セミナー開催結果</td><td>4</td></tr><tr><td>3.1 参加者</td><td>4</td></tr><tr><td>3.2 講演内容</td><td>4</td></tr><tr><td>(1) 「低炭素型水処理技術」によるSDGsへの貢献</td><td>5</td></tr><tr><td>(2) 「下水処理技術を活用した下水処理システムの省エネ化」</td><td>23</td></tr><tr><td>(3) 「カーボンニュートラルの時代における水処理技術の活用」</td><td>24</td></tr><tr><td>(4) 「建設物 日田 とアモリス」による省エネ水処理技術の活用</td><td>24</td></tr><tr><td>(5) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用</td><td>44</td></tr><tr><td>(6) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用</td><td>44</td></tr><tr><td>(7) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用</td><td>44</td></tr><tr><td>(8) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用</td><td>44</td></tr><tr><td>(9) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用</td><td>44</td></tr><tr><td>(10) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用</td><td>44</td></tr><tr><td>4. セミナーのまとめ</td><td>80</td></tr><tr><td>4.1 セミナーにおける個人発表のまとめ</td><td>80</td></tr><tr><td>4.2 セミナーの感想</td><td>82</td></tr><tr><td>4.3 セミナーにおけるアンケートの結果</td><td>83</td></tr><tr><td>4.4 セミナーの感想、参加者の写真</td><td>85</td></tr><tr><td>5. まとめ</td><td>87</td></tr></table>	1. 事業目的	3	2. 事業内容	3	3. セミナー開催結果	4	3.1 参加者	4	3.2 講演内容	4	(1) 「低炭素型水処理技術」によるSDGsへの貢献	5	(2) 「下水処理技術を活用した下水処理システムの省エネ化」	23	(3) 「カーボンニュートラルの時代における水処理技術の活用」	24	(4) 「建設物 日田 とアモリス」による省エネ水処理技術の活用	24	(5) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44	(6) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44	(7) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44	(8) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44	(9) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44	(10) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44	4. セミナーのまとめ	80	4.1 セミナーにおける個人発表のまとめ	80	4.2 セミナーの感想	82	4.3 セミナーにおけるアンケートの結果	83	4.4 セミナーの感想、参加者の写真	85	5. まとめ
1. 事業目的	3																																									
2. 事業内容	3																																									
3. セミナー開催結果	4																																									
3.1 参加者	4																																									
3.2 講演内容	4																																									
(1) 「低炭素型水処理技術」によるSDGsへの貢献	5																																									
(2) 「下水処理技術を活用した下水処理システムの省エネ化」	23																																									
(3) 「カーボンニュートラルの時代における水処理技術の活用」	24																																									
(4) 「建設物 日田 とアモリス」による省エネ水処理技術の活用	24																																									
(5) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44																																									
(6) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44																																									
(7) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44																																									
(8) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44																																									
(9) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44																																									
(10) 「低炭素型水処理技術」による省エネ水処理技術の活用	44																																									
4. セミナーのまとめ	80																																									
4.1 セミナーにおける個人発表のまとめ	80																																									
4.2 セミナーの感想	82																																									
4.3 セミナーにおけるアンケートの結果	83																																									
4.4 セミナーの感想、参加者の写真	85																																									
5. まとめ	87																																									

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
「低炭素型水処理技術」セミナーテキスト



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人造水促進センター（ゾウスイソクシンセンター）

住所： 〒103-0003

東京都中央区日本橋横山町4番5号 福田ビル4階

代表者： 理事長 山本 和夫（ヤマモト カズオ）

担当部署： 総務部（ソウムブ）

担当者名： 総務部長 中村 俊治（ナカムラ トシハル）

電話番号： 03-5644-7565

F A X： 03-5644-0686

E-mail： zosui@wrpc.jp

U R L： <http://www.wrpc.jp>